

「津市地域公共交通計画(案)」に対する意見募集の結果について

NO.	頁	項目	意見	意見に対する考え方
1	-	-	「津市地域公共交通計画」(案)においては、コミュニティバスについて、令和8年4月からの運賃割引制度(継続分)により、シルバーエミカを提示した人の割引後の運賃が100円となります。 この運賃の乗降時の支払いに、シルバーエミカのポイントが使えるようにしていただきたい。 現状は、シルバーエミカを提示すれば無料です。 事業の持続的な推進のため、負担が生じることについては理解できます。 シルバーエミカのポイントは、バス代だけで使い切るとは難しく、毎年残ポイントがある中で更新時期を迎えています。 高齢者が現金の支払いがなく、シルバーエミカのポイントでコミュニティバスの乗車できれば、高齢者の外出支援としてのシルバーエミカの価値は、より一層高まると考えます。 「津市地域公共交通計画」に加えていただくようお願いいたします。	ご意見をいただきました高齢者の外出支援事業につきましては、高齢者の日常の移動支援や外出機会の拡大、また、生きがいや人と人とのつながりのきっかけづくり等を通じた福祉の向上に資するため、シルバーエミカを交付しており、これまでと同様にシルバーエミカ所有者に対して200円の割引を行うことにより、支援を継続することとしています。 なお、本計画案におきましては、人口減少や少子高齢化の急速な進展、また運転手不足や燃料価格の高騰など、公共交通を取り巻く環境が一層厳しさを増すなか、本市における持続可能な公共交通網の形成に向け、その実現のための基本方針や目標、取組等を共有するため、策定するものです。 ご意見のコミュニティバスをはじめとした地域公共交通に係る運賃やダイヤ編成等につきましては、それぞれの運営主体(行政、交通事業者等)によって、その時々々の社会経済情勢をはじめとした様々な状況等を見極めながら判断され、状況に応じて変更等がなされる可能性が高いものでありますことから、5年間という中期的な基本方針や目標等を共有するための地域公共交通計画においては、これまでも具体的な運賃やダイヤ編成等の記載は行っておりません。 なお、ご意見の運賃や割引制度等に係る内容も含めまして「目標3ー(3)共助の意識の醸成」でお示しておりますように、今後も津市コミュニティバスのサービス内容や新しい公共交通サービスのあり方等を検討するため、各地域のあり方検討会等を開催し、地域の意見等を聞くなど、地域住民が参画したうえで地域の公共交通の課題等について協議を行い、地域全体で公共交通を支えていく意識の醸成を目指すことを位置付けておりますことから、ご理解のほどお願いいたします。
2	48	第3章 津市地域公共交通の課題	理念の具体化	本計画案におきましては、ご意見いただきました、「第3章 津市地域公共交通の課題」の解決を図るため、計画の目指すべき将来像を「快適で幸せな暮らしを多様な移動サービスで支えるまち」と定め、将来像を実現するため「①利便性の高い公共交通網の確立」、「②地域の暮らしを支える公共交通網の形成」、「③持続可能な公共交通の実現」、「④将来を見据えた公共交通への取組の推進」の4つの基本的な方針のもと、目指すべき目標、さらには目標ごとにそれぞれの実施主体(津市、三重県、国、事業者等)で役割分担を行い、目標を達成するために実施する具体的な取組をお示しておりますことから、これらの取組が着実に進められるよう三重県、国、事業者、地域住民とともに取り組んでまいります。
3	73	第5章 目標を達成するための取組	確実な実行 まずひな型を作り、少しずつ改善していった、皆の満足のいくものにしていただきたい。 私達は会をつくり、ずっと交通問題にとりくんできました。他県へ視察もいきました。全体的に机上の空論に思える。もっと現実困っている市民1人1人の声に耳をかたむけていただきたい。	本計画におきまして、ご意見いただきました「第5章 目標を達成するために実施する取組」の「津市コミュニティバスの再編の方向性」につきましては、再編の検討に当たりまして、現行の定時定路線型のコミュニティバスの様々な課題の解決を図りつつ、サービス水準が低下することがないよう考慮し、地域に寄り添い、日常生活の移動・行動の実状にできる限り沿うことで、現在の利用者に加え、新たな利用者の拡大につなげるとともに、多くの人が「良い再編となった」と実感できる再編案となりますよう、これまでの利用実績のデータ等の検証をはじめ実証実験やアンケート結果を踏まえるとともに、各地域で開催する地域公共交通あり方検討会や地域懇談会等を通じていただいたご意見、さらには日々、交通政策課に寄せられるご意見等も踏まえるなど、特性が異なる各地域の実状に合わせて「路線定期運行」、「区域運行(リクエスト型)」、「路線定期運行+区域運行」の3つの運行形態を柔軟に選択し、運行する再編方針であります。 また、コミュニティバスの運行に係る取組については、地域のご意見をお聞きすることとはもとより、毎年度個別に評価を行ったうえで、津市地域公共交通活性化協議会において、PDCAサイクル(計画→実施→評価→改善)に基づいた進捗管理を毎年行い、必要に応じて適宜見直しの検討を行うこととしています。